

潤いの森 4月

カラスビシャク

サトイモ科 多年草
開花期：4-5月



日本の在来種でサトイモ科の多年草です。花を覆う筒状のツトがひしゃくに似ていることから、人が使うには小さいが、カラスが使うには丁度よい。ということで、その名がついたと言われています。

アケビ

アケビ科落葉ツル性木本 花期：3-4月



雄花

アケビの名の由来は、秋に楕円形の果実がつき、熟すと縦に割れて白くて甘い果肉と黒い種子を覗かせる様子から、「開（あ）け実（み）」の意味で名付けられたものです。



スギナ（つくし）

シダ植物

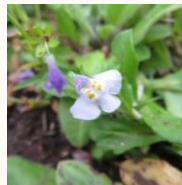


スギナはシダ植物で、少し面白い構造をしています。ツクシが成長すると、スギナになるわけではなく、ツクシは孢子の為の茎、スギナは光合成の為の茎として、別々に生えてきます。しかし、地下ではしっかり根でつながっていますよ。



トキワハゼ

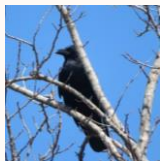
サギゴケ科多年草
開花期：4-11月



開花期が一年中と、良く咲く植物のためか、トキワハゼの花言葉は「いつもと変わらぬ心」です。漢字では「常盤爆」と書きます。

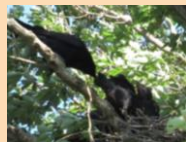
ハシボソガラス

スズメ目カラス科 観察時期：年中



少し早くから、ハシボソガラスの巣作りが始まりました。カラスの成長は早く、卵は20日程で孵化し、雛は1か月ほどで巣立ちます。カラスは、オスメスともに餌を与え、見張りをしたりと協力し合っ
て育てます。

2018年5月初旬



餌を与える親ガラス

キタテハ

チョウ目タテハチョウ科

観察時期：3-11月



キタテハは、年に3～5回ほど羽化があり、冬の間も成虫で越冬するものがいます。そのため、早い時期から目にする事ができるチョウです。

幼虫はカナムグラなどのアサ科の植物を食べて成長します。背中 of 棘の様な物はカモフラージュで、毒などはありません。



シロハラ

スズメ目ツグミ科 観察時期：10-5月



シロハラは冬鳥で、夏の間は中国の東北地方やロシアの方に帰り子育てをします。群れることはあまりなく、単独行動が多いですが、芝生や原っぱの上で餌を探していることもあり、見つけやすい冬鳥です。